

♥ “はじめて”に出会う

清水 幸子

私の短大生活は、“はじめて”で充実していたと言えるでしょう。はじめての街。はじめての寮生活。はじめてのお化粧。はじめてのホームシック。はじめての夜遊び。はじめての編み物。はじめて子猫を抱いたことなどなど。

はじめての幸せと楽しいことがあって、今ではたくさんのはじめては、当たり前だったりしているけれど、これらは私の貴重な宝物であるはずです。

これからも、たくさんのはじめて“を見つけていきます。

（しみず さちこ／国文科2年）

♥寮生活を終えて

山田 幸代

短大に入って2年間、私は学生寮で過ごしました。ルーム・メイトとは、初めてあったその日から同じ部屋で生活してきました。最初は、うまく生活していけるか心配だったのに、今では、みんなといることが普通です。そのみんなとも、もうお別れです。一緒に過

ごしてきた時間は、なんだか早く過ぎたような気がします。

これからは、自分の道へ進み、新しい生活が待っています。不安もあるけれど、寮での生活を思い出して、どこへ行ってもがんばっていきたいと思います。

（やまだ さちよ／国文科2年）

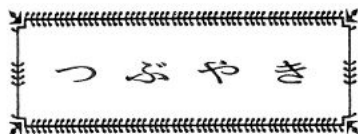
♥ふるさとを離れて

星 美香

生まれてから18年間、私は新潟県の栃尾市という所で育ちました。電車も通っていない山の中で“水と緑と織物の町”と言われていいます。栃尾は“油あげ”が有名で、油あげ屋さんがたくさんあります。私は栃尾の油あげしか食べたことがなかったので、それが普通だとずっと思っていたのですが、初めて見た人にはとても大きいらしいです。そう言われると、私が作っているわけでもないのに、なんだかとてもうれしくなります。

今年から、私は長野で一人暮らしをする予定です。自分で決めたことですが、少しさみしい気がします。

（ほし みか／国文科2年）



♥継続は力なり

上野寛美

私は小学校3年から高校卒業まで書道を習っていたので、短大では書道コースを選択しました。習いはじめの頃は、楽しいと思った時などなかったのに、今では書を見るだけでも楽しいのです。

“継続は力なり”と言いますが、私の経験からもそう言えます。少しずつではありますが、確実に力がつきます。何事も続けることが大切だと思います。

4月から就職してしまうので、大変かもしれませんが、これからも書道を続けていきたいです。

（うえの ひろみ／国文科2年）

してもらえなくなった。自分で自分の考え・気持ちを伝えないと、誰も助けてはくれないのだ。人の目を見て話をしたり、人の話をしっかり聞いたり、ことばとことばのコミュニケーションは、ちょっとした工夫でうまくいくと私は思う。

私が苦手なのは、しゃべることだ。自分の伝えたいことをそのまま表現すると、うまく伝わらないことがあり、悩んでいる。そして、何を考えているのかわからない人と思われてしまうのではないかと心配になる。

頭の中で、気持ちをことばに変換する時は、あせらずにわかりやすくなるようにしていこうと思う。

（おおかわ みつよ／国文科2年）

♥コミュニケーション

大川光世

私は、人とうまくコミュニケーションをとることができない。小さな頃から、人前に出ることが苦手で、発表や挨拶などをする時はとても緊張した。一言もしゃべれなくなってしまふほどで、いつも大変な思いをした。

だが、もう二十歳にもなり、甘えたことを

